

【教育委員会事務局 行動指針】

豊かな学びを深めてふるさとを愛する人づくり

～ 協働 挑戦 創造 そして未来へ ～

自ら、挑戦・創造の機運を高め、学校や地域とのつながりを大切に、
チーム教育で「宮津の新しい教育の創造 ver.2.0～学びの時代～」
の実現を目指します

No.	組 織 目 標	ページ
1	生涯にわたる多様な学習機会の拡充	1
2	人権教育・啓発の推進	2
3	家庭や地域の教育力の向上	2
4	ふるさとみやづ学の構築（生涯にわたるシビックプライドの育成）	3
5	質の高い学力・たくましい身体の育成	4
6	教育環境の充実	6
7	夢・志・豊かな感性を持った人づくり	7
8	地域と一体となった学校づくり	8
9	歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	8
10	歴史文化を学び親しむ機会の創出	9

令和5年度 運営目標

1	生涯にわたる多様な学習機会の拡充	  	中間点検（9月）	最終点検（3月）
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 市民の生涯にわたる学習活動の推進（公民館事業の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館において、住民のニーズや現代的課題に関する各種講座、子どものびのび体験活動・人権学習等を実施するほか、健康づくり事業（ウォーキング、体操等）の定着を図る。 <p>【達成すべき指標】 ○公民館の利用者数 R5 4.3万人（総計実施計画目標数値）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どものびのび体験事業の実施 各地区公民館2事業以上 ②人権学習の実施 各地区公民館 1回以上 ③健康づくり事業 各地区公民館 月1回以上の実施 ④小学生と高校・大学等との交流学习事業の実施 3回 ⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。 ⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催 1回 		<p>【達成すべき指標】 ○公民館の利用者数 R5 4.3万人（総計実施計画目標数値）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に集計のため、現時点では未集計 <p>【指標を実現するための取組・手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どものびのび体験事業の実施 68回 ②人権学習の実施 各地区公民館に実施依頼 2回 宮津5地区合同実施 ③健康づくり事業 95回 ④小学生と大学等との交流学习事業の実施 2回 ・養老地区犀川生き物探検：宮津天橋高校参加 ・中央公民館事業の共同実施：宮津天橋高校 ⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。 ・館長・主事会の実施（年3回） ⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催 ・未実施 	<p>【指標実績】 ○公民館の利用者数 R5 4.3万人（総計実施計画目標数値） ⇒31,168人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どものびのび体験事業の実施 89回 ②人権学習の実施 各地区公民館に実施依頼 2回 ・2地区実施（日ヶ谷地区3/15、宮津4地区合同9/28） ③健康づくり事業 134回 ④小学生と大学等との交流学习事業の実施 2回 ・養老地区犀川生き物探検8/2：宮津天橋高校参加 ・中央公民館事業の共同実施：宮津天橋高校 ⑤各地区公民館長・主事と連携し、学習内容の指導、助言を行う。 ・館長・主事会の実施（年3回） 第1回5/11 宮津市福祉・教育総合プラザ 第2回10/31 世屋地区公民館 第3回2/8 上宮津地区公民館 ⑥大学等との連携・協働による教室・講座の開催 ・未実施
	<p>②</p> <p>【施策】 市民の学習や活動の場の充実（上宮津地区公民館の旧上宮津小学校への移転）</p> <p>【達成すべき指標】 ○令和6年3月までに移転完了</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地元移転委員会との協議、調整 ②改修工事の発注（R5.7） 		<p>【達成すべき指標】 ○令和6年3月までに移転完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月末工期で発注 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地元移転委員会との協議、調整 ・実施中 ②改修工事の発注 ・R5.9月に完了 ・工期 9月21日からR6.3.21 	<p>【指標実績】 令和6年3月21日竣工</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 上宮津地区公民館の建設</p>
	<p>③</p> <p>【施策】 図書館利用者の利便性の向上による利用者の増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校等への訪問や地区公民館（図書室）の活用を通じ、市民が図書に親しむ機会を充実するとともに、中高生向けの推薦図書リストの活用や中高生の選書図書コーナーの設置等により、中高生の読書活動を推進する。 		<p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民一人あたりの図書貸出数 R元 9.4冊 → R5 10冊 ○中高生の図書館利用率 R元 964人/年 → R5 1,000人/年 	<p>【指標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民一人あたりの図書貸出数 R5 10冊 R5年度実績 7.8冊 ○中高生の図書館利用率 R5 1,000人/年 R5年度実績 514人/年

	<p>【達成すべき指標】 ○市民一人あたりの図書貸出数 R元 9.4冊 → R5 10冊 ○中高生の図書館利用率 R元 964人/年 → R5 1,000人/年</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①各地区公民館、学校との連携を図り、図書に親しむ機会の充実を図る。 ②中高生との連携(中高生の利用率向上) 中高生おすすめ本コーナーの設置 市内3高校、中学校各1回 ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成 ④障害のある方へのサービスの充実 ⑤予約のWEB利用の普及(DX計画) ⑥電子図書館の導入等、これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。</p>	<p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①各地区公民館との連携：未実施 学校との連携：移動図書館車での訪問実施 14回 ②中高生との連携(中高生の利用率向上) 中高生おすすめ本コーナーの設置 高校生 1回(7/19~9/27) 中学生 1回(2校同時開催9/29~11/29) ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成 ・3月作成予定 ④障害のある方へのサービスの充実：未実施 ⑤対面朗読による障害のある方への図書館利用推進 ・未実施(本年度、京都府立図書館が「図書館のバリアフリー計画」を策定予定。計画との整合性を図り実施) ⑥これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。：未実施(12月から3月) ・宮津市子どもの読書活動推進計画の中間年として、アンケートの実施と集計を実施 ⑦府立図書館等との連携の強化 ・府立図書館の電子書籍の小中学校へのアカウントの依頼、など協議中</p>	<p>【指標を実現するために行った取組・手段】 ①各地区公民館との連携：未実施 学校との連携：移動図書館車での訪問実施 14回 ②中高生との連携(中高生の利用率向上) 中高生おすすめ本コーナーの設置 高校生 3回(市内3高等学校実施) 中学生 1回(2校同時開催9/29~11/29) ③(観光)ビジネス支援図書リストの作成：未実施 ④障害のある方へのサービスの充実：未実施 ⑤対面朗読による障害のある方への図書館利用推進 ・未実施(本年度、京都府立図書館が「図書館のバリアフリー計画」を策定予定。計画との整合性を図り実施) ⑥これからの時代に求められる図書館像についての調査・研究をまとめる。：未実施 ・宮津市子どもの読書活動推進計画の中間年としてアンケートの実施と集計を実施：未実施 ・電子図書館導入にあたって、京丹後市、与謝野町、宮津市の3図書館で、意見交換を実施(2回)</p>
--	---	---	---

<p>2 人権教育・啓発の推進</p> 	<p>中間点検(9月)</p>	<p>最終点検(3月)</p>
---	-----------------	-----------------

<p>運営目標 ①</p>	<p>【施策】 あらゆる場・機会を通じた人権教育・啓発の推進</p> <p>【達成すべき指標】 ○人権教育を通じた、人権意識の向上</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①市民人権研修会の開催 年2回開催 ②各地区公民館での人権研修会 10回 ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣 ④学校教育と連携した人権教育の実施 ⑤人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上を図るとともに、市民・団体等 に対し、あらゆる場を通じて人権教育・啓発を図る。</p>	<p>【達成すべき指標】 ○人権教育を通じた、人権意識の向上</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①市民人権研修会の開催 ・第1回 6月30日 開催 ・第2回 11月9日 開催予定 ②各地区公民館での人権研修会(再掲) ・1回実施(宮津4地区合同開催) ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣 ・府と連携し、公民館長が講師となれるように人権研修会のリーフレットの作成：未実施 ・人権指導員の講師派遣 ④人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上を図るとともに、市民・団体等に対し、あらゆる場を通じて人権教育・啓発を図る。 ・市民人権研修会の開催への参加依頼 ・企業人権教育推進協議会の取り組み ・研修会の開催 ・人権標語の募集</p>	<p>【指標実績】 ○人権教育のあらゆる機会を通じ、人権意識向上に努めた</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段等】 ①市民人権研修会開催 ・第1回 6月30日開催 ・第2回 11月9日開催 ②各地区公民館での人権研修会(再掲) ・2地区実施(日ヶ谷地区3/15、宮津4地区合同9/28) ③地区公民館での人権研修のプログラム作成及び講師派遣 ・各地区公民館での人権研修プログラム作成：未実施 ・人権指導員の講師派遣9月28日(宮津4地区合同) ④人権教育を推進する指導者の育成及び資質向上、市民・団体等に対する人権教育・啓発 ・市民人権研修会の情報を提供及び団体等へ参加を依頼 ・企業人権教育推進協議会 人権指導員講師派遣 京都丹後鉄道新入職員研修4月4日 金下建設(株)新入職員研修6月9日 視察研修10月20日 研修会開催11月30日 人権標語を募集し、入選作品を配付1月</p>
---------------	--	--	--

3	家庭や地域の教育力の向上	  	中間点検（9月）	最終点検（3月）
	<p>①</p> <p>【施策】 家庭の教育力の向上</p> <p>【達成すべき指標】 ○地域・PTA・学校と連携した家庭教育力の向上</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①府PTA研究大会への支援 ②市PTA協議会への支援 ③PTA・地域・学校での家庭教育事業の実施 研修会の開催 年2回 ④PTA等社会教育団体への助言</p>		<p>【達成すべき指標】 ○地域・PTA・学校と連携した家庭教育力の向上</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①府PTA研究大会への支援 10月29日開催 ②市PTA協議会への支援 ・運営補助金の支出 ③PTA・地域・学校での家庭教育事業の実施 研修会の開催 年2回 ④PTA等社会教育団体への助言 ・府PTA研究大会実行委員会への参画 ・市PTA事業への参画</p>	<p>【指標実績】 ○地域・PTA・学校と連携した家庭教育力が高まってきている。</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段】 ①府PTA研究大会への支援 10月29日開催 ②市PTA協議会への支援 ・運営補助金の支出 ③PTA・地域・学校での家庭教育事業の実施 研修会の開催 年2回（6月19日・2月6日） ④PTA等社会教育団体への助言 ・府PTA研究大会実行委員会への参画 ・市PTA事業への参画</p>
運営目標	<p>②</p> <p>【施策】 地域と一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の推進（地域学校協働活動の実施）</p> <p>・地域と学校の効果的な連携・協働を目指し、地域学校協働本部と地域学校協働活動推進員と連携を図り、地域と一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】 ○地域と学校との協働活動の実施 100事業/年（総計実施計画目標数値80回/年） ○協働活動への地域住民の参加者数 4,000人→4,500人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①学校運営協議会への地域からの参画 ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ③学校と地域との協働活動の実施 ④地域への積極的な情報発信 ・学校だより 毎月の発行、学院だより 3回/年の発行 ・地域学校協働活動のまとめの発信 ⑤高校・大学等との連携・協働による事業実施</p>		<p>【達成すべき指標】 ○地域と学校との協働活動の実施 100事業/年（総計実施計画目標数値80回/年） ○協働活動への地域住民の参加者数 4,000人→4,500人</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①学校運営協議会への参画、地域等からの参画 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ・活動推進員協議会の開催（学期に1回年3回予定） ③学校と地域との協働活動の実施 ・実施回数 未集計 ④学校から家庭や地域への積極的な情報発信 ・学校だより毎月の発行、学院だより 3回/年の発行 ・地域学校協働活動のまとめ発信：未実施 ⑤大学等との連携・協働による事業実施 ・宮津天橋高校との連携 犀川、世屋川探検への参画</p>	<p>【指標実績】 ○地域と学校との協働活動の実施 83事業/年 ○協働活動への地域住民の参加者数 延べ1,338人</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段】 ①学校運営協議会への参画、地域等からの参画 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか ②地域学校協働活動推進員と連携した協働活動の支援 ・活動推進員協議会の開催（6月23日） ③学校と地域との協働活動の実施 ・実施回数 延べ988回 ④学校から家庭や地域への積極的な情報発信 ・学校だより毎月の発行、学院だより 3回/年の発行 ・地域学校協働活動のまとめ発信：未実施 ⑤大学等との連携・協働による事業実施 ・宮津天橋高校との連携 犀川、世屋川探検への参画</p>

4	ふるさとみやづ学の構築 (生涯にわたるシビックプライドの育成)	  	中間点検 (9月)	最終点検 (3月)
運営目標	<p>【施策】 市民の生涯にわたるシビックプライドの育成（ふるさとみやづ学講座の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津への理解と愛着を深めていくための「ふるさとみやづ学」を構築するために、公民館、すこやか大学、小中学生など幅広く市民を対象に「ふるさとみやづ」を題材とした学習機会を提供する。 また、小学生対象に「子ども学芸員」の認定制度を導入する。 <p>【達成すべき指標】 ○ふるさとみやづ学の構築</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公民館事業での講座の開催 年20回 ②すこやか大学での講座の開催 年1回 ③図書館講座での開催 年1回 ④「二十歳のつどい」の開催 ⑤天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ⑥こども学芸員講座の開催 	<p>【達成すべき指標】 ○ふるさとみやづ学の構築</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公民館での講座の開催 年4回 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館事業にて実施 10回 (学芸員による歴史ウォーキングなど) ②すこやか大学での講座の開催 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・「宮津歴史探訪」の開催 6月30日 ③図書館講座での開催 <ul style="list-style-type: none"> ・2月～3月開催予定 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ※10-②参照 <ul style="list-style-type: none"> ・(予) 天橋立ネイチャー講演会 (11/10) ・(予) 天橋立ネイチャーウォーク (11/11) ⑤こども学芸員の実習や認定制度の構築に向けた検討 ※10-④参照 	<p>【指標実績】 ○ふるさとみやづ学の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公民館での講座の開催 ②すこやか大学での講座の開催 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・「宮津歴史探訪」の開催 6月30日 ③図書館講座での開催 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ※10-②参照 <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立ネイチャー講演会 (11/10 30人) ・天橋立ネイチャーウォーク (11/11 20人) ⑤子ども学芸員養成講座 <ul style="list-style-type: none"> 参加者及び子供学芸員資格認定者 7名 達成率 (完了)=70% (7/10人) (市内小学校6年生 栗田小6名 宮津小1名) <p>※10-④参照</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公民館での講座の開催 年4回 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館事業にて実施 10回 (学芸員による歴史ウォーキングなど) ②すこやか大学での講座の開催 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・「宮津歴史探訪」の開催 6月30日 ③図書館講座での開催 <ul style="list-style-type: none"> ・2月～3月開催予定 ④天橋立を題材とした、講演、現地ウォークなどの開催 ※10-②参照 <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立ネイチャー講演会 (11/10) ・天橋立ネイチャーウォーク (11/11) ⑤こども学芸員の实習や認定制度の構築に向けた検討 ※10-④参照 	
	<p>【施策】 「ふるさとみやづ学」に係る歴史コンテンツの作成や学習機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとみやづ学」の構築に向けて、市内各地域の歴史文化資源の魅力のストーリー化、コンテンツ化をすすめるとともに、学校教育、社会教育と連携の上、幅広い世代に、造成したコンテンツを活用した学習の機会を充実する。 <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現 (座学・現地講座等) 3回以上 (1単元×延べ3回) ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現 (座学・現地講座等) 4回以上 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校等との協議連携 ②社会教育関係団体等との協議連携 ③府立丹後郷土資料館、歴彩館など資料館施設等の連携 	<p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現 達成率100% (実績 3回以上) <ul style="list-style-type: none"> ・Kids学芸員養成塾の開催【※10-④】 ・栗田中学校校外学習 (栗田中 野外活動) ・ふるさと学習に係る企画協力。相談 (随時) ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現 達成率100% (実績 5回以上 (講師派遣等)) <ul style="list-style-type: none"> ・城東城南公民館歩きな〜れ (4/30 約15人) ・立命館大学村おこしチーム (5/6 日ヶ谷 約30人) ・すこやか大学2講座 (5/23 133人) (6/30 23名) ・カトリック宮津教会 (6 約30人) ・(予) 図書館 (新宮涼庭 11/3) ・(予) 城南部地域会議 (八幡山城 11/5) ・(予) 府中歴史ウォーク (12/16・17) <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p>	<p>【指標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒を対象とした歴史学習の機会実現 達成率100% (実績 3回以上) <ul style="list-style-type: none"> ・Kids学芸員養成塾の開催【※10-④】 ・栗田中学校校外学習 (野外活動) ・宮津小学校校外学習 (歴史資料館) ・ふるさと学習に係る企画協力。相談 (随時) ○一般成人を対象とした歴史学習の機会実現 達成率100% (実績 5回以上 (講師派遣等)) <ul style="list-style-type: none"> ・城東城南公民館歩きな〜れ (4/30 約15人) ・立命館大学村おこしチーム (5/6 日ヶ谷 約30人) ・すこやか大学2講座 (5/23 133人) (6/30 23名) ・カトリック宮津教会 (6/13 約30人) ・図書館 新宮涼庭 (11/3 98人) ・城南部地域会議 (八幡山城 11/5 約20人) ・府中歴史ウォーク (12/16・17 のべ60人) 	

	④当市の歴史文化に係る映像コンテンツやパンフレット資料等の有効活用	①学校等との協議連携 ・初任者研修(9/15 天橋立視察)講師 ほか ②社会教育関係団体等との協議連携 ・公民館事業等の企画協力、講師派遣 ほか ③資料館施設等の連携 ④歴史文化に係るコンテンツの有効活用 ・イベント時等の資料配布 ・「広報みやづ」での「歴史紀行」連載	【指標を実現するために行った取組・手段】 ①学校等との協議連携 ・初任者研修(9/15 天橋立視察)講師 ほか ②社会教育関係団体等との協議連携 ・公民館事業等の企画協力、講師派遣 ほか ③資料館施設等の連携 ④歴史文化に係るコンテンツの有効活用 ・イベント時等の資料配布 ・「広報みやづ」での「歴史紀行」連載	
③	【施策】 「ふるさとみやづ学～高校生立志編～」の実施 ・市内高校と連携し、市長との対話を通じ、高校生が自ら考え、学び、市への言を行うことにより、ふるさとみやづへの想いを深める活動を実施する。 【達成すべき指標】 ○高校生立志編の実施 【指標を実現するための取組・手段等】 ①市内3高校との連携 推進会議・実務者会議の開催 ②高校生の支援 ③市内3高校の参加 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言 ⑤情報発信の強化	提	【達成すべき指標】 ○高校生立志編の実施 【指標を実現するための取組・手段等】 ①市内3校の連携に向けた調整会議の実施 R5.5.24開催 ②高校生の支援：未実施 ③市内3高校の参加 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言：未実施 ⑤情報発信の強化：未実施	【指標実績】 ○高校生立志編の実施（R6.3.22） 【指標を実現するための取組・手段】 ①市内3校の連携に向けた調整会議の実施 R5.5.24開催 ②高校生の支援：未実施 ③市内3高校の参加：未達 ④市長との対談、市との連携（高校生の課題への協力、助言）、市長への提言：R6.3.22実施 ⑤情報発信の強化：未実施

5	質の高い学力・たくましい身体の育成 —つながり 響き合い 広がる教育—	  	中間点検（9月）	最終点検（3月）
---	--	--	----------	----------

運営目標	①	【【施策】】 基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現を推進 【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）全国平均以上 〔 R4（市：全国） 小6（国語62.0：65.6 算数59.0：70.2） 中3（国語70.0：69.0 数学51.0：51.4） 〕 ○語彙力向上を目指す「日本漢字能力検定」の活用 合格率90%以上 小学4年・6年指定、小学6年生の5級保有率 R4:62%→70% ○英語力を高める「英語検定」の活用 合格率80%以上 中学1年・3年指定、中学3年生の3級保有率 R4:50%→60% ○子どもが主体的に学ぶ学習状況の調査 ○教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習 R4 吉津小：地域の宝プロジェクト 府中小：歴史探検隊 ほか ○主体的に学ぶ教職員集団 ・宮津市小学校学習づくり研究会 ・学びの深化推進プロジェクト会議(仮称) ほか 【指標を実現するための取組・手段等】 ①学びの深化プロジェクト・ICT教育担当参事の配置 ②ICT機器等を活用した授業改善 ③デジタル教科書の活用研究 ④宮津市「学びの深化プロジェクト」研究実践校の設置と、その理念、方策、手法	【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査 全国平均以上 ➡未達 R5（市：全国） 小6（国語70.0：67.2 算数66.0：62.5） 中3（国語67.0：69.8 数学48.0：51.0） ○「日本漢字能力検定」の活用 ○「英語検定」の活用 【指標を実現するための取組・手段等】 ①4.1付学びの深化プロジェクト・ICT教育担当参事を配置 ②ICT機器等を活用した授業改善 ・学びの深化PJサポート訪問の創設 R5.10月現在 訪問回数 3回（2校） ③デジタル教科書の活用研究 ④宮津市「学びの深化プロジェクト研究」TEAM GALAPAGOSを発足 12名参加（幼・小・中、管理職・教諭・事務職員） ・集合研修 2回 ・個人の探究課題 ⑤府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果の共有、研究発表会 令和5年度(最終)研究発表 11月17日開催 ⑥算数学び定着サポーター2名 6小学校 3・4年生 ⑦コミュニケーション教育の推進	【指標実績】 ○全国学力・学習状況調査 全国平均以上 ➡未達 R5（市：全国） 小6（国語70.0：67.2 算数66.0：62.5） 中3（国語67.0：69.8 数学48.0：51.0） ○「日本漢字能力検定」の活用 小4合格率79.4% 小6合格率74.3% ○「英語検定」の活用 中1合格率87.7% 中3合格率55.7% 【指標を実現するための取組・手段】 ①4.1付学びの深化プロジェクト・ICT教育担当参事を配置 ②ICT機器等を活用した授業改善 ・学びの深化PJサポート訪問の創設 訪問回数 13回（6校）…指導助言 オンラインサポート（日常的に） ③デジタル教科書の活用研究 ④宮津市「学びの深化プロジェクト研究」TEAM GALAPAGOSを発足 12名参加（幼・小・中、管理職・教諭・事務職員） ・学びの深化プロジェクト研修（GALAPAGOS） 研修会5回実施 デジタルブックを作成し、市内全教職員に共有し研究成果・事例の波及
------	---	--	--	---

	①	<p>等の波及</p> <p>⑤府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果の共有、研究発表会への参加、その理念、方策、手法等の波及</p> <p>⑥算数学び定着サポーターの配置 6小学校 3・4年生</p> <p>⑦演劇的活動などを取り入れたコミュニケーション教育の推進</p> <p>⑧小学校の教科担任制の推進</p> <p>⑨英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専科教員、ALTの配置 ・「聞く」「話す」に重点を置いた選択英語「オールイングリッシュ授業」の導入 <p>⑩大学等との連携・協働（京都府立大、京都教育大、佛教大、関西大、龍谷大ほか）</p> <p>⑪高等学校等との連携・協働（宮津天橋高校、海洋高校ほか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・推進モデル校 宮津小学校、宮津中学校 ・第1回推進委員会 6月19日 趣旨説明、意見交流 <p>(予定)・視察研修 11.15 豊岡市立日高小学校 11.16 豊岡市立豊岡北中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回推進委員会 宮津小ワークショップ、振り返り、意見交流 ・第3回推進委員会 1月15日 宮津中ワークショップ、振り返り、意見交流 <p>⑧小学校の教科担任制の推進</p> <p>⑨英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専科教員 2名、ALT 2名の配置 ・選択英語「オールイングリッシュ授業」 学年別年間計画 宮津中・栗田中全学年 9月19日 AET と会話 <p>(予定) 10月・11月・12月実施予定 学年別年間計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究実践校に吉津小学校を指定 「学びに向かう力」の育成を主題に「一人一探究」。ICT利活用の実践と他校への波及 <p>⑤府中小「絆の作り手育成プログラム」研究成果の共有、研究発表会 令和5年度(最終)研究発表 11月17日開催</p> <p>⑥算数学び定着サポーター2名 6小学校 3・4年生</p> <p>⑦コミュニケーション教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進モデル校 宮津小学校、宮津中学校 ・第1回推進委員会 6月19日 趣旨説明、意見交流 ・視察研修 11.15 豊岡市立日高小学校 11.16 豊岡市立豊岡北中学校 ・第2回推進委員会 1月15日 宮津中ワークショップ、振り返り、意見交流 2月21日 宮津小ワークショップ、振り返り、意見交流 <p>⑧小学校の教科担任制の推進</p> <p>⑨英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専科教員 2名、ALT 2名の配置 ・選択英語「オールイングリッシュ授業」 学年別年間計画 宮津中・栗田中全学年 9月19日 AET と会話 <p>宮津中 10月・12月・3月(3年は2月)実施 栗田中 10月・12月・2月実施</p>
運営目標	②	<p>【施策】 自らの生命と安全を確保するための安全教育・防災教育の徹底</p> <p>【達成すべき指標】 ○心身の成長を支える基本的な知識や望ましい生活習慣を身に付ける ○危機対応能力を身に付ける</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 R4 交通事故 1件 重災害事故 7件</p> <p>②薬物乱用防止教室の開催</p> <p>③避難訓練の実施</p> <p>④学校施設の定期的な点検</p> <p>⑤通学路の安全点検の実施、通学路安全推進協議会の開催(年2回)</p> <p>⑥スクールガードリーダーの配置</p> <p>⑦防災対策マニュアルの見直し</p>	<p>【達成すべき指標】 ○心身の成長を支える基本的な知識や望ましい生活習慣を身に付ける ○危機対応能力を身に付ける</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 R5.10月現在 交通事故 6件 重災害事故 5件</p> <p>②薬物乱用防止教室の開催 6小2中校で開催</p> <p>③避難訓練の実施 6小2中校で実施</p> <p>④学校施設の定期的な点検 6小2中校で実施</p> <p>⑤通学路の安全点検の実施 6小2中校で実施 通学路安全推進協議会 R5.10月現在 未実施</p> <p>⑥スクールガードリーダーの配置 警察官OB 2人</p> <p>⑦防災対策マニュアルの見直し 6小2中校で実施</p>	<p>【指標実績】 ○心身の成長を支える基本的な知識や望ましい生活習慣を身に付ける ○危機対応能力を身に付ける</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①児童生徒の交通事故、重災害事故の減少 R5 交通事故 8件 重災害事故 10件</p> <p>②薬物乱用防止教室の開催 6小2中校で開催</p> <p>③避難訓練の実施 6小2中校で実施</p> <p>④学校施設の定期的な点検 6小2中校で実施</p> <p>⑤通学路の安全点検の実施 6小2中校で実施 通学路安全推進協議会 R6.2.20実施</p> <p>⑥スクールガードリーダーの配置 警察官OB 2人</p> <p>⑦防災対策マニュアルの見直し 6小2中校で実施</p>

	<p>③</p> <p>【施策】 学校給食の運営と食育の推進</p> <p>【達成すべき指標】 ○健康を守るための栄養についての知識を身に付け、生涯にわたる望ましい食習慣を形成する</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①栄養教諭3名の配置 ②望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施 ・食育・給食巡回指導 60回（10学校・園×3学期×2回） ③学校給食委員会の活動充実 ・宮津を食べようコンテストの実施 「もぐもぐだより」の発行 10回/年、広報みやづ 学校給食掲載 5回/年 ④地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置 9回/年 ⑤給食食べ残しの削減 R4 4.9g/人・日 → 0.20g/人・日</p>	<p>【達成すべき指標】 健康を守るための栄養についての知識を身に付け、生涯にわたる望ましい食習慣を形成する</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①栄養教諭3名を配置 ②望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施 ・食育・給食巡回指導 R5.9月現在 35回 ③学校給食委員会の活動充実 ・宮津を食べようコンテストの実施予定 ・「もぐもぐだより」の発行 10回/年→ R5.9月現在4回 広報みやづ学校 給食掲載 5回/年→ R5.9月現在2回 ④地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置 9回/年 → R5.9月現在4回 ⑤給食食べ残しの削減 R4 4.9g/人・日 → R5.9月現在 3.5g/人・日</p>	<p>【指標実績】 健康を守るための栄養についての知識を身に付け、生涯にわたる望ましい食習慣を形成する</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①栄養教諭3名を配置 ②望ましい食習慣の育成のため「食に関する授業」を実施 ・食育・給食巡回指導 80回 ③学校給食委員会の活動充実 ・宮津を食べようコンテストの実施予定 ・「もぐもぐだより」の発行 10回/年 広報みやづ学校 給食掲載 5回/年 ④地域の食材を使った「みやづ食の日」の設置 9回/年 ⑤給食食べ残しの削減 R4 4.9g/人・日 → R5 3.7g/人・日</p>
--	---	---	--

6	教育環境を充実する	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	中間点検（9月）	最終点検（3月）
---	-----------	---	--	----------	----------

運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 適正な規模の学校教育環境の整備</p> <p>【達成すべき指標】 ○学校等の適正規模配置 ○宮津・栗田幼稚園の今後の設置方針</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①極めて小規模な学校施設の再編に向けた保護者、地域等との協議 ②就学前施設の配置についての検討を行う。</p>	<p>【達成すべき指標】 ○学校等の適正規模配置 ○宮津・栗田幼稚園の今後の設置方針</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①養老小学校の再編に向けた保護者、地域等との協議 ・6.13 保護者説明会 ・7.10 保護者説明会 ・8月 保護者意向確認調査 ・8.18 保護者説明会 ・9月 日ヶ谷自治連、養老自治協に相談 R5.10月現在 保護者総意としての同意が得られず、再編については未定。 ②就学前施設の配置についての検討を行う。 R5.10月現在 未実施</p>	<p>【指標実績】 ○学校等の適正規模配置 ○宮津・栗田幼稚園の今後の設置方針</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①養老小学校の再編に向けた保護者、地域等との協議 ・6.13 保護者説明会 ・7.10 保護者説明会 ・8月 保護者意向確認調査 ・8.18 保護者説明会 ・9月 日ヶ谷自治連、養老自治協に相談 ・12.14 保護者説明会 ・12.19 地域との協議 ②養老小学校の再編に係る保護者、地域等への説明等 ・1.13 再編説明会 ・保護者説明会（1.25、2.7、2.14、2.26） ・保護者懇談会（3.4、3.27） ・スクールバス体験会（2.19、2.24） ・スクールバス避難訓練（3.27） ③就学前施設の配置についての検討を行う。 未実施</p>
------	--	---	--

	<p>②</p> <p>【施策】 学校施設長寿命化計画・施設整備年次計画に基づいた教育環境の整備</p> <p>【達成すべき指標】 ○学校トイレの洋式化等整備 ○非構造部材の耐震点検・改修検討</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①宮津中学校トイレ洋式化等整備の実施 ②令和6年度整備箇所を検討</p>	<p>【達成すべき指標】 ○学校トイレの洋式化等整備 ○非構造部材の耐震点検・改修検討</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①宮津中学校トイレ洋式化等整備工事 契約 8.2 57,750,000円 期間 8.3～12.11 ②令和6年度整備箇所を検討 R5.9現在 未実施</p>	<p>【指標実績】 ○学校トイレの洋式化等整備 ○非構造部材の耐震点検・改修検討</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①宮津中学校トイレ洋式化等整備工事 契約 8.2 57,750,000円 期間 8.3～12.11 ②令和6年度整備箇所を検討 栗田小学校トイレ洋式化等整備工事</p>
--	--	--	--

7	夢・志・豊かな感性を持った人づくり	 <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>
---	-------------------	---	---

運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 認知能力と非認知能力の一体的な育成</p> <p>【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査 ・「自分には、良いところがあると思いますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔R4 (市：全国) 小6 81.4% : 79.3% 中3 80.2% : 78.5% 〕</p> <p>○全国学力・学習状況調査 ・「将来の夢や目標をもっていますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔R4 (市：全国) 小6 70.3% : 79.8% 中3 75.0% : 67.3% 〕</p> <p>○自分と他者の違いをすり合わせ、集団の中で合意形成をとることができる。</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①コミュニケーション教育の実践 ・宮津小学校、宮津中学校をモデル校とし、演劇的活動などの表現手法を取り入れたワークショップ等の開催 ・指導計画、指導方法を確認する外部講師による研修会の開催</p>	<p>【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査 ・「自分には、良いところがあると思いますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔 R5 (市：全国) 小6 79.8% : 83.5% 中3 84.3% : 80.0% 〕</p> <p>○全国学力・学習状況調査 ・「将来の夢や目標をもっていますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔 R5 (市：全国) 小6 78.9% : 81.5% 中3 77.1% : 66.3% 〕</p> <p>○自分と他者の違いをすり合わせ、集団の中で合意形成をとることができる。</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①コミュニケーション教育の実践（再掲） ・推進モデル校 宮津小学校、宮津中学校 ・第1回推進委員会 6月19日 趣旨説明、意見交流 (予定)・視察研修 11.15 豊岡市立日高小学校 11.16 豊岡市立豊岡北中学校 ・第2回推進委員会 11月29日 宮津小ワークショップ、振り返り、意見交流 ・第3回推進委員会 1月15日 宮津中ワークショップ、振り返り、意見交流</p>	<p>【指標実績】 ○全国学力・学習状況調査 ・「自分には、良いところがあると思いますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔 R5 (市：全国) 小6 79.8% : 83.5% 中3 84.3% : 80.0% 〕</p> <p>○全国学力・学習状況調査 ・「将来の夢や目標をもっていますか」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔 R5 (市：全国) 小6 78.9% : 81.5% 中3 77.1% : 66.3% 〕</p> <p>○自分と他者の違いをすり合わせ、集団の中で合意形成をとることができる。</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 ①コミュニケーション教育の実践（再掲） ・推進モデル校 宮津小学校、宮津中学校 ・第1回推進委員会 6月19日 趣旨説明、意見交流 ・視察研修 11.15 豊岡市立日高小学校 11.16 豊岡市立豊岡北中学校 ・第2回推進委員会 1月15日 宮津中ワークショップ、振り返り、意見交流 2月21日 宮津小ワークショップ、振り返り、意見交流</p>
------	---	--	---

	<p>【施策】 不登校児童生徒の学びの場の確保 ・いじめや暴力行為、不登校の未然防止・早期発見・早期対応 誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の構築</p> <p>【達成すべき指標】 ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ○いじめ事象認知件数の縮減</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①校内教育支援センター（仮称）設置に向けた研究 ②学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 ・相談員の学校訪問 ③適応指導教室「こころのひろば」運営 ・不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置（各週1回、1回4時間） ④いじめ防止対策の推進 ・いじめ調査の実施、分析 ・いじめ防止対策委員会の開催 ⑤中学校制服等に係る検討会議を組織（LGBTを考慮した制服の検討）</p>	<p>【達成すべき指標】 ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ・小学校1学期10日以上欠席児童 前年比2人増 出現率3.09% ・中学校1学期10日以上欠席生徒 前年比3人増 出現率5.30% ○いじめ事象認知件数の縮減 ・小学校1学期認知件数 前年比28件減 発生率18.4% ・中学校1学期認知件数 前年比5件減 発生率11.1%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 相談員の学校訪問 ②適応指導教室「こころのひろば」運営 不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置（各週1回、1回4時間） ③いじめ防止対策の推進 いじめ調査の実施、分析 いじめ防止対策推進委員会の開催 5月16日 いじめ問題対策連絡会議の開催 8月3日 ④校内フリースクールの開設 5.9月現在未実施（宮津中学校内の開設を検討中） ⑤適応指導教室通室費補助制度の創設 R5.9月現在未実施（制度検討中）</p>	<p>【指標実績】 ○不登校児童生徒の縮減、希望進路の達成 ・小学校年間30日以上欠席児童 前年比2人増 出現率3.41% ・中学校年間30日以上欠席生徒 前年比4人増 出現率7.20% ○いじめ事象認知件数の縮減 ・小学校3学期間認知件数 前年比26件減 発生率11.1% ・中学校3学期間認知件数 前年比3件減 発生率7.2%</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段】 ①学校等と連携した教育相談室「こころのまど」運営 相談員の学校訪問 ②適応指導教室「こころのひろば」運営 不登校児童生徒支援拠点整備事業によるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターの配置（各週1回、1回4時間） ③いじめ防止対策の推進 いじめ調査の実施、分析 いじめ防止対策推進委員会の開催 5月16日 いじめ問題対策連絡会議の開催 8月3日 ④校内フリースクールの開設 R6.2月 宮津中学校内に開設 ⑤適応指導教室通室費補助制度の創設 宮津市適応指導教室等通室費補助金交付要綱を策定 R6年度中の対象者はなし</p>
--	--	--	--

8 地域一体となった学校づくり  

運営目標	<p>【施策】 社会に開かれた教育課程の実現、地域と一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」の推進</p> <p>【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査 ・「今住んでいる地域の行事に参加している」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔R4（市：全国）小6 82.2%：52.7% 中3 69.8%：40.0%〕</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①学校運営協議会の開催 ②学校と地域との協働活動の実施（再掲） ③積極的な情報発信 学院だより、学校だよりの発行（再掲）</p>	<p>【達成すべき指標】 ○全国学力・学習状況調査 ・「今住んでいる地域の行事に参加している」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔R5（市：全国）小6 78.9%：57.8% 中3 74.7%：38.0%〕</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①学校運営協議会の開催 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか ②学校と地域との協働活動の実施（再掲） ・活動推進員協議会の開催（学期に1回年3回予定） ③積極的な情報発信学院だより、学校だよりの発行（再掲） ・学校だより毎月の発行、学院だより 3回/年の発行 ・地域学校協働活動のまとめ発信：未実施</p>	<p>【指標実績】 ○全国学力・学習状況調査 ・「今住んでいる地域の行事に参加している」 全国平均以上 あてはまる、どちらかといえば当てはまる 〔R5（市：全国）小6 78.9%：57.8% 中3 74.7%：38.0%〕</p> <p>【指標を実現するために行った取組・手段】 ①学校運営協議会の開催 ・市内全小中学校に設置済み 自治会、公民館、PTA役員、民生児童委員ほか ②学校と地域との協働活動の実施（再掲） ・活動推進員協議会の開催（学期に1回年3回予定） ③積極的な情報発信学院だより、学校だよりの発行（再掲） ・学校だより毎月の発行、学院だより 3回/年の発行 ・地域学校協働活動のまとめ発信：未実施</p>
------	---	--	---

9	歴史文化資源の調査・価値づけ・保存	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	中間点検（9月）	最終点検（3月）
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 「宮津市文化財保存活用地域計画」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宮津市文化財保存活用地域計画」の令和5年度中の文化庁計画認定に受けるべく申請を行う。申請原案の作成にあたっては、「宮津市文化財保存活用地域計画策定協議会」における検討を主体に、市民や関連団体等の意見を広く聴取し、計画書に盛り込む。 <p>【達成すべき指標】 ○「宮津市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定（12月）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①庁内及び文化庁ほか関係機関との協議調整 ②文化財保存活用地域計画策定協議会における計画の審議検討 ③市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他）</p>	<p>【達成すべき指標】 ○「地域計画」の文化庁認定（12月） 達成率（現在）≒80%（全行程の8/10）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①庁内及び文化庁ほか関係機関との協議調整 ②地域計画策定協議会における計画の審議検討 ③市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内意見照会・調整（5月：完了） ・文化財保護審議会の意見徴収（5月：完了） ・市議会全員協議会報告（6月完了） ・パブリックコメント実施（6～7月：完了） ・策定協議会による原案承認（7月：完了） ・文化庁担当官との事前調整（7～9月：完了） <p>（今後の予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国関係省庁との事前協議（10月～随時） ・文化庁への認定申請（11月下旬） ・文化庁計画認定（国文化審議会・12月17日予定） 	<p>【達成すべき指標】 ○「地域計画」の文化庁認定（12月15日付） 達成率 100%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①庁内及び文化庁ほか関係機関との協議調整 ②地域計画策定協議会における計画の審議検討 ③市民等に幅広く意見を聞く機会の設定（パブコメ他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内意見照会・調整（5月：完了） ・文化財保護審議会の意見徴収（5月：完了） ・市議会全員協議会報告（6月完了） ・パブリックコメント実施（6～7月：完了） ・策定協議会による原案承認（7月：完了） ・文化庁担当官との事前調整（7～9月：完了） ・国関係省庁との事前協議（10月～随時） ・文化庁への認定申請（11月下旬） ・文化庁計画認定（国文化審議会・12月15日） <p>④計画の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書（300部）、概要版（10,000部）印刷 ※概要版については5月に各戸配布予定 			
運営目標	<p>②</p> <p>【施策】 文化的景観の保全に係る「重要な構成要素」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国選定「宮津天橋立の文化的景観」の保全に係り、既に選定を受けている府中・文殊地区における「重要な構成要素」の整備事業支援を行う。 <p>【達成すべき指標】 ○重要な構成要素（2件）の設計及び整備事業の実施</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ②実施事業者への支援、文化庁ほか関係機関との調整</p>	<p>【達成すべき指標】 ○整備事業2件（天橋立棧橋・舟屋）の実施 達成率=0%（今年度未実施。調整率≒80%）</p> <p>①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ②実施事業者への支援、文化庁ほか関係機関との調整</p> <p>※R5年度文化庁補助金の4月内示は0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹海棧橋整備工事は別補助で実施する方向で調整済。 ※高付加価値化事業（観光課）で実施予定。（改修計画の内容にはコミット） ・溝尻舟屋工事は次年度以降に持ち越し。（文化庁・所有者と調整済） ・高付加価値化事業等に伴う改修計画調整 	<p>【達成すべき指標】 ○整備事業2件（天橋立棧橋・舟屋）の実施 達成率=0%（今年度未実施。調整率≒100%）</p> <p>①文化的景観検討委員会による整備計画の審議検討 ②実施事業者への支援、文化庁ほか関係機関との調整</p> <p>※R5年度文化庁補助金の4月内示は0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹海棧橋整備工事は別補助で実施するよう調整済み。 ※高付加価値化事業（観光課）で実施。（改修計画の内容にはコミット=専門家による指導） ・溝尻舟屋工事はR6年度事業として予算化 ・高付加価値化事業等に伴う改修計画調整 			
運営目標	<p>③</p> <p>【施策】 「安国寺遺跡」の発掘調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代丹後府中や中世の安国寺の候補地である「安国寺遺跡」の発掘調査を継続して実施（H28～R8年度）し、遺跡の価値や重要性を明らかにする。 <p>【達成すべき指標】 ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討 ②京都府・丹後資料館等関係機関との情報共有と事業連携 ③調査成果報告のための現地説明会の開催</p>	<p>【達成すべき指標】 ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価 達成率（現在）≒10%（全行程の1/10）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会の開催（9月、調査計画検討 済） ・現地調査開始（10～12月予定） ・調査委員会の開催（調査成果検討 12月） ・出土遺物・作成図面の整理（1～3月） <p>②調査成果報告のための現地説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査終了後開催予定（12月） 	<p>【達成すべき指標】 ○発掘調査の実施と遺跡の価値の評価 達成率（目途）50%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①発掘調査委員会による調査計画と調査成果の審議検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会の開催（9月、調査計画検討） ・現地調査開始（10～12月） ・調査委員の現地視察（調査成果の確認・検討12月） ・出土遺物・作成図面の整理（1～3月） <p>②調査成果報告のための現地説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査終了後（12/16 30人） 			

10	歴史文化を学び親しむ機会の創出	4 質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう	中間点検（9月）	最終点検（3月）
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 文化観光と連携した旧三上家住宅の保存活用 ・文化観光にも資するよう、旧三上家住宅においてWEBを用いた情報発信や、ユニークベニュー活用事業などを、指定管理者や関係団体とも連携協力の上、実証実験として実施する。また建物の持続可能な保全管理のために、収益性の向上に努める。</p> <p>【達成すべき指標】 ○来館者数 4,000人（R1年）→ 5,000人 ○自主事業収入の増加 R5年度 920千円 （R3年度 46千円、R4年度 667千円）</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①指定管理者に対する支援 ②夜間開館（ライトアップイベント等）の実施 ③ユニークベニュー活用事業の実施 ④物販機能の強化 ⑤旅行商品の企画造成と実証実験 ⑥インバウンド対応の充実 ⑦デジタル技術を活用した情報発信・プロモーションの充実 ⑧関係機関・団体との連携強化</p>				<p>【達成すべき指標】 ○来館者数(9月末時) 2,010人 (R1同期2,055人) 達成率(現在)=40% (2,010/5,000人) 【内訳】・観覧者数 1,680人 (昨年同期1,344人) (※利用料金収入 観覧料478,200円 ※使用料21,600円) ・イベント参加者数 330人 (昨年同期 300人) ○自主事業収入(利用料金外収入)の増加 達成率(現在) 195% (1,787千円/920千円) 【内訳】(※売上額であり収益ではない。) ・夜間イベント時飲食(6回) 302千円 ・Café 飲食(常時) 193千円 ・本陣庭座敷宴(15回) 1,292千円</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①指定管理者に対する支援 ・指定管理料 4,000千円(年間) ・コンテンツ開発補助金 460千円(※交付金事業) ・ライトアップ企画運営 498千円(〃) ②夜間開館(ライトアップイベント等)の実施 ・建物外観のライトアップ(常時) ・夜間イベントの開催(※じょんのれん 毎月1回 9月末時点6回 ・その他(ベリーダンス実演 ほか) ③ユニークベニュー活用事業の実施 ④物販機能の強化 ・Café 運営(常時) ・本陣庭座敷宴(申込・実施件数9月末15件) ・まちなみシンポ(11/23予定) ⑤旅行商品の企画造成と実証実験 ⑥インバウンド対応の充実 ・舞鶴クルーズ連携(SAKE 試飲 1回 参加者約15名) ・宮津おどり体験(毎月第3土曜日) ⑦情報発信・プロモーションの充実 ・SNSによる日々の情報発信 ・公式YOUTUBEチャンネルの開設</p>	<p>【指標実績】 来館者数(3月末時) 2,677人 (R1:3,963人) 達成率(現在)=53.5% (2,677/5,000人) 【内訳】・観覧者数 2,287人 (昨年:2,373人) 利用料金収入 ①観覧料 638,300円 ②使用料 41,500円 ・イベント参加者数 390人 (R4:511人) ○自主事業収入(利用料金外収入)の増加 達成率(現在) 290% (2,660千円/ 920千円) 【内訳】(※売上額であり収益ではない。) ・夜間イベント時飲食(6回) 401千円 ・Café 飲食(常時) 387千円 ・本陣庭座敷宴(15回) 1,872千円</p> <p>【指標を実現するための取組・手段】 指標を実現するための取組・手段等】 ①指定管理者に対する支援 ・指定管理料 4,000千円(年間) ・コンテンツ開発補助金 460千円(※交付金事業) ・ライトアップ企画運営 498千円(〃) ②夜間開館(ライトアップイベント等)の実施 ・建物外観のライトアップ(常時) ・夜間イベントの開催(※じょんのれん 10回(月1回ペース) その他(ベリーダンス実演 ほか) ③ユニークベニュー活用事業の実施 ④物販機能の強化 ・Café 運営(常時) ・本陣庭座敷宴(申込・実施件数 24件) ⑤旅行商品の企画造成と実証実験 ⑥インバウンド対応の充実 ・舞鶴クルーズ連携(SAKE 試飲 1回 参加者約15名) ・宮津おどり体験(毎月第3土曜日) ⑦情報発信・プロモーションの充実 ・SNSによる日々の情報発信(管理人により毎日) ・公式YOUTUBEチャンネルの開設(プロモーション・イベント等映像配信) ・NOTIONによるイベント告知・紹介</p>

<p>運営目標 ②</p>	<p>【施策】 天橋立の価値や魅力の啓発・世界遺産登録の推進 ・天橋立世界遺産登録に向け、R天橋立を未来に継承していくための機運醸成のための各種事業を展開する。とくにR5年度については環境保全の視点を意識し、地域住民や関係団体と連携の上、座学、フィールドワークを問わず、様々な形でふるさと宮津の歴史文化を学び親しむ機会を創出する。</p> <p>【達成すべき指標】 ○天橋立の価値や世界遺産登録機運醸成に係る講座等の参加者数延べ人数 1,000人以上 ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ②天橋立の価値や世界遺産登録機運醸成に係る講座等の実施 ③環境保全意識高揚に係る座学・フィールドワークの実施 ④デジタル技術を活用した情報発信・プロモーションの充実 ⑤京都府ほか関係機関、市民団体、事業者等との連携 ⑥府立丹後郷土資料館、歴彩館など資料館施設等の連携</p>	<p>【達成すべき指標】 ○機運醸成に係る講座等の参加者数 146人 達成率（現在）=15%（146/1,000人） ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載 達成率（現在）=0%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ・事業費補助金 1,414千円 ・事務局担当支援 ②講座等の実施 ・天橋立世界遺産講座（9～10月 4回 於：歴彩館） ①「禅と天橋立」（9/21 84人） ②「王朝和歌から現代俳句まで」（9/28 82人） ③「天橋立と能「丹後物狂」」（10/12 85人） ④（予）「伝説・伝承の舞台としての天橋立」（10/26） ③環境保全意識高揚に係る座学・フィールドワークの実施 ・（予）天橋立ネイチャー講演会（11/10） ・（予）天橋立ネイチャーウォーク（11/11） ④デジタル技術を活用した情報発信・プロモーションの充実 ・（未）HP更新、SNSによる発信など ⑤京都府ほか関係機関、市民団体、事業者等との連携 ⑥府立丹後郷土資料館、歴彩館など資料館施設等の連携 ①文化政策室 ・OUV構築（推進会議・（未）世界遺産講演会（3/16）） ・天橋立内での文化イベント（Kyoto Phonie ほか） ②府教委 ・史跡丹後国分寺跡の発掘調査・保存活用計画 ③府土木事務所 ・天橋立松並木保全計画・保全管理 ④天橋立を守る会 ・クリーン橋立（2回 4月 約1,500人 12月予定）</p>	<p>【達成すべき指標】 機運醸成に係る講座等の参加者数 466人 達成率（現在）=46%（146/1,000人） ○世界遺産暫定一覧表（国内暫定リスト）への記載 達成率（現在）=0%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ・事業費補助金 1,414千円 ・事務局担当支援 ②講座等の実施 ・天橋立世界遺産講座（9～10月 4回 於：歴彩館） ①「禅と天橋立」（9/21 84人） ②「王朝和歌から現代俳句まで」（9/28 82人） ③「天橋立と能「丹後物狂」」（10/12 85人） ④「伝説・伝承の舞台としての天橋立」（10/26 95人） ③環境保全意識高揚に係る座学・フィールドワークの実施 ・天橋立ネイチャー講演会（11/10 30人） ・（天橋立ネイチャーウォーク（11/11 20人） ④デジタル技術を活用した情報発信・プロモーションの充実 ・（HP更新、SNSによる発信など） ⑤京都府ほか関係機関、市民団体、事業者等との連携 ⑥府立丹後郷土資料館、歴彩館など資料館施設等の連携 ①文化政策室 ・OUV構築（コンサル委託、府と連携協力して作業） ・専門家現地視察 3/16（本中氏） ・推進会議開催 3/17 ・世界遺産講演会（3/17 70人） ・天橋立内での文化イベント（Kyoto Phonie ほか） ②府教委 ・史跡丹後国分寺跡の発掘調査（僧房跡遺構のの検出） 保存活用計画策定作業 ③府土木事務所 ・天橋立松並木保全計画・保全管理 ④天橋立を守る会 ・クリーン橋立（2回 4月 約1,500人 12月）</p>
---------------	--	--	--

	<p>【施策】 文化庁移転記念フォーラムの開催 ・文化財の保存活用が地域の活性化に果たす役割や、天橋立ほか市域の文化資源の活用手法などをテーマに、これからの文化行政・文化財の保存活用のあり方を模索するフォーラムを開催する。</p> <p>【達成すべき指標】 ○フォーラム参加者数 100名</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①フォーラムの企画運営 ②事業の効果的周知</p>	<p>【達成すべき指標】 ○フォーラム参加者数 50名 達成率 (完了=50% (50/100人))</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①フォーラムの企画運営 ・フォーラムの企画・調整 (6～9月 済) ・フォーラムの開催 (10/14 参加者50名) ※講師 (佐々木丹資名誉館長・篠田文化庁政策課長) ※会場 (清輝楼) の評判よし ※府知事祝辞ほか、府関係者が多く参加・注目 ※市議、関係者も多く参加。一般市民の参加少なし。 ②事業の効果的周知 ・チラシの作成 ・関係者へのDM ・市SNS</p>	<p>【達成すべき指標】 ○フォーラム参加者数 50名 達成率 (完了=50% (50/100人))</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①フォーラムの企画運営 ・フォーラムの企画・調整 (6～9月 済) ・フォーラムの開催 (10/14 参加者50名) ※講師 (佐々木丹資名誉館長・篠田文化庁政策課長) ※会場 (清輝楼) の評判よし ※府知事祝辞ほか、府関係者が多く参加・注目 ※市議、関係者も多く参加。一般市民の参加少なし。 ②事業の効果的周知 ・チラシの作成 ・関係者へのDM ・市SNS</p>
④	<p>【施策】 子ども学芸員講座の開催 ・小学生を対象に、古文書や土器などの実物の歴史資料に触れ、その調査や保存管理展示設営等の学芸員の仕事を学ぶ体験講座を開催。子ども達の郷土の歴史や文化への関心を高め、郷土愛の意識を涵養を図るとともに、将来における地域の歴史文化の担い手・伝え手の創出につなげる。 ○開催時期：夏休み期間 (7月～8月) での実施</p> <p>【達成すべき指標】 ○参加者及び子供学芸員資格認定者 10名</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①子ども学芸員講座のカリキュラム造成 ②子ども学芸員認定制度の仕組み構築 ③学校・保護者等との連携 ④丹後資料館他博物館施設等との連携</p>	<p>【達成すべき指標】 ○参加者及び子供学芸員資格認定者 7名 達成率 (完了)=70% (7/10人) (市内小学校6年生 栗田小6名 宮津小1名)</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①Kids学芸員講座のカリキュラム造成 (4回+1 於:資料館) ・資料館のオモテの顔とウラの顔 (7/27) ・さわって良いの?ホンモノの資料 (7/28) ・企画!北前船展示 (8/9) ・実践!北前船資料展示 (8/10) ・Kids学芸員による展示解説 (8/26 当日来館者41名) ②子ども学芸員認定制度の仕組み構築 ・受講者に修了書及び認定カードを交付 ・資料館特別公開 (8/11～8/27) ③学校・保護者等との連携 ・栗田小ふるさと学習 (北前船学習) との連携 ・栗田小父兄による送迎</p>	<p>【達成すべき指標】 ○参加者及び子供学芸員資格認定者 7名 達成率 (完了)=70% (7/10人) (市内小学校6年生 栗田小6名 宮津小1名)</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①Kids学芸員講座のカリキュラム造成 (4回+1 於:資料館) ・資料館のオモテの顔とウラの顔 (7/27) ・さわって良いの?ホンモノの資料 (7/28) ・企画!北前船展示 (8/9) ・実践!北前船資料展示 (8/10) ・Kids学芸員による展示解説 (8/26 当日来館者41名) ②子ども学芸員認定制度の仕組み構築 ・受講者に修了書及び認定カードを交付 ・資料館特別公開 (8/11～8/27) ③学校・保護者等との連携 ・栗田小ふるさと学習 (北前船学習) との連携 ・栗田小父兄による送迎</p>